

ご案内

公開勉強会「能登半島地震からみえてきた文化財建造物の災害復旧の課題」

<主旨>

能登半島地震後、文化庁による3度目の文化財ドクター派遣事業が実施された。これは文化財防災センターが中心となって行う災害調査ならびに災害復旧活動の最初の機会でもあった。日本建築学会・建築歴史・意匠委員会は、5者間協定に基づきこの事業に協力したが、これまでとは異なる点も多く、調査員にはとまどいもあった。これらは新たな体制に起因するものがほとんどで、新体制のさまざまな課題が露呈する結果となったが、その反省は今後の災害時の対応に向けて重要であろう。一方で、阪神淡路大震災から約40年の年月をかけて取り組んできた文化財建造物の防災対策に関しては、ある程度の成果が見られるのも事実である。しかし、いまだ解決できない課題も多数残っている。そのため、現段階までの成果と課題を整理しておく必要があるだろう。本公開勉強会では、能登半島地震後の対応をふりかえりながら、今後の文化財建造物の防災に向けた対応に関して議論していきたい。

<主催>

日本建築学会 建築歴史・意匠委員会 文化遺産災害対策小委員会／歴史的建造物保存制度WG

<日時>

令和8年2月7日（土） 14:30～17:30

<場所>

建築会館 301・302 会議室 ・ オンライン併用

<参加申込>

参加を希望される方は、下記より登録ください。Google Meets の接続先 URL をメールにてご案内いたします。

■参加申込フォーム

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd1cb2WMw1DzJEyKsQo1wfm_e6RxH0s6QO-ivmizC2Lrc9WCw/viewform

<次第>

- ・主旨説明 【大橋竜太（東京家政学院大学）】
- ・第一部：能登半島地震の総括
 - 1) 災害支援システムからみた震災被害概要 【池上重康（北海道大学）】
 - 2) 各県の被災調査と復旧支援の課題
 - ① 石川県 【山崎幹泰（金沢工業大学）】
 - ② 富山県 【森本英裕（レトロフィット合同会社）】
 - ③ 新潟県 【津村泰範（長岡造形大学）】
 - 3) 課題の整理 【山崎幹泰（前掲）】
- ・第二部：今後の文化財防災に向けて
 - 1) 文化財防災のこれまでの成果と現状の課題について 【永井康雄（山形大学）】
 - 2) 文化財防災マニュアルについて
 - ① 宮城県の対応【白崎恵介（宮城県）】
 - ② 金沢市の対応【小坂謙介（金沢市）】
 - ③ 文化財保存活用地域計画における災害時マニュアル 【梅津章子（文化庁）】
- ・討論
- ・まとめ

以上